

ShinEtsu

しんえつ・レポート

第134期 上半期報告書

オーストラリアのグレートオーシャンロード
(2010年信越グループカレンダー「NATURE AND LIFE 地球讃歌」より)

(2010年4月1日～2010年9月30日)





代表取締役会長

金川 千尋



代表取締役社長

森 俊三

**強固な事業基盤を構築し
世界規模で成長機会をとらえて
企業価値の最大化に取り組んでいます。**

株主・投資家の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第134期(2010年度／2010年4月1日から2011年3月31日まで)の
上半期報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

2010年度上半期の業績と利益還元

当上半期の世界経済は、アジアでは中国を中心に景気が回復傾向にありましたが、欧米ではなお失業率が高い水準で推移するなど厳しい状況が続きました。また、日本では、設備投資や個人消費が持ち直す動きが見られたものの、その水準は依然として低く、円高の影響もあり景気回復までには至らない状況でした。

当社グループは、このような環境下で成長機会を着実にとらえ、世界各地で顧客との関係を強化し、販売拡大に努めるとともに、経営の合理化と効率化、新規製品の開発および事業化に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当上半期の業績は、売上高5,325億6千2百万円(前年同期比27.6%増)、経常利益812億3百万円(前年同期比45.5%増)となりました。また、純利益は、日米相互協議の合意による過年度法人税の戻り入れもあり、623億4千2百万円(前年同期比75.5%増)となり、いずれも前年同期を上回りました。

また、中間配当金につきましては、前年と同額の1株につき50円とさせていただきます。

主要事業の動向

当社グループは、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」に従い、当上半期より事業セグメント区分を変更いたしました(詳細はP5～6をご参照下さい)。

塩ビ・化成品事業では、塩ビ事業の中核である米国のシンテック社は、米国住宅市場の需要が長期にわたり低迷する中、引き続き世界規模で拡販を進めた結果、高水準の出荷を維持しました。また、オランダのシンエツPVC社も堅調な出荷を維持しました。

シリコン事業は、電気・電子、自動車、化粧品など幅広い分野での需要が活発で、国内外とも堅調に推移しました。

機能性化学品事業では、国内のセルロース誘導体事業で医薬用製品が堅調に推移し、また自動車向けなどの用途で需要の回復も見られました。

半導体シリコン事業は、広範な半導体デバイスの需要回復により、ウエハー需要が堅調に推移したことにより、業績は伸長しました。

電子・機能材料事業では、希土類磁石がハイブリッド自動車やロボットおよび工作機械用途で着実に需要をとらえ堅調でした。また高輝度LED用コート材や、フォトレジスト製品も好調に推移しました。合成石英は、光ファイバー用プリフォームが好調な出荷を続けました。

事業基盤の強化と原料の安定確保

当社グループでは、成長市場での事業の拡大および主要事業の一層の基盤強化をはかるため、原料や資源の安定的な確保に向け、積極的な投資を行っています。シンテック社では、米国ルイジアナ州ブラクマンで塩ビの原料からの一貫生産工場の建設工事が完了し、生産を開始しています。また、半導体シリコン、シリコーン樹脂、合成石英などの原料となる金属珪素の生産能力の増強にも取り組んでいます。希土類磁石では、自社内リサイクル設備の稼働や新技術「粒界拡散合金法」によるジスプロシウムの使用量の削減などのレア・アース原料対策を実施しています。

研究開発では、引き続き独創性のある製品と技術の開発に注力しています。また、特許取得などを通じて知的財産権の保全にも力を注いでいます。

地球環境問題への総合的な貢献

当社グループは「地球環境への貢献」を経営の目標の一つとしています。このため、環境に貢献する製品の拡販と新規製品の事業化、当社独自の生産技術やノウハウを活用した事業活動による環境負荷低減など、総合的な取り組みを進めています。一例として、当社の希土類磁石はハイブリッド自動車や省エネエアコンのモーターなどに幅広く活用され、省資源と省エネルギーに貢献しています。

公正な経営とCSRの推進

当社グループは、「遵法に徹し公正な企業活動を行い、素材と技術を通じて、暮らしや産業、社会に貢献する」ことを企業理念としています。厳格な内部統制システムの運用とともに、6名の社外取締役および3名の社外監査役の参画を得て、経営の健全性および透明性の確保に努めています。企業の社会的責任(CSR)に関しては、グループ各社が世界各地で多様な活動を展開するとともに、その情報を適宜開示しています。

私たちは、株主・投資家の皆さまのご期待に沿いますよう、会社の発展と企業価値の最大化に力を注いでまいります。今後とも皆さまより一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

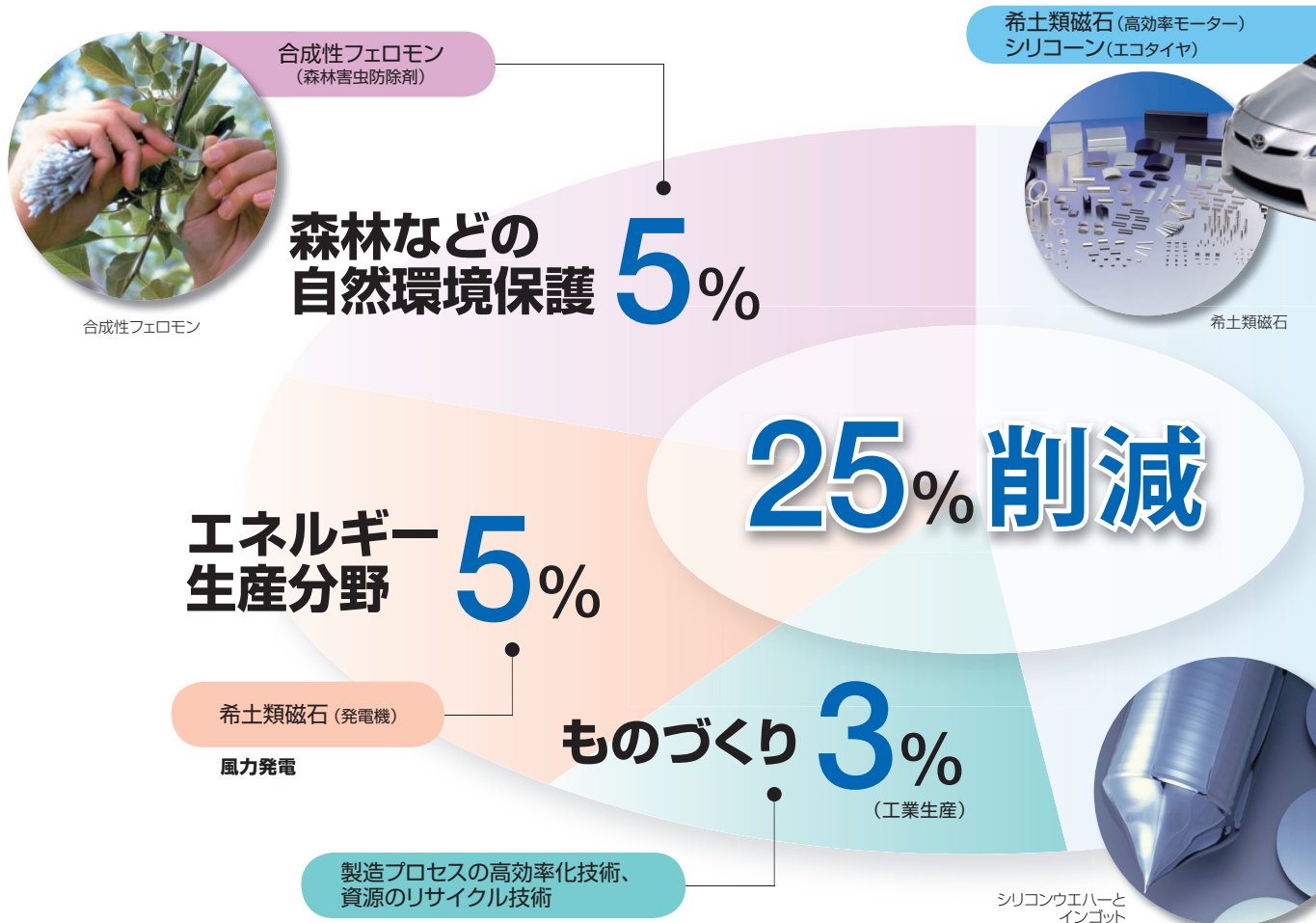
2010年11月



温室効果ガス25%削減に向けて

信越化学の社外取締役、小宮山宏前東京大学総長は、低炭素社会と循環型社会を実現するためには、「エネルギー効率3倍」、「物質循環システムの構築」、「再生可能エネルギー2倍」の実現が不可欠と提唱しています。そして、2009年に日本政府が示した「温室効果ガス25%削減」への具体的な方法も示しています。

「日々の暮らし」から「森林の保護」まで、幅広い領域でエネルギー効率化



それは、「日々の暮らし」から12%、「ものづくり」から3%、「エネルギー生産分野」から5%、「森林などの自然環境保護」から5%、温室効果ガスをそれぞれ削減し、25%の削減目標を達成するという提言です。
当社はこれを実現するために、当社が持つ製品と技術を生かしながら次のように取り組んでいます。



社外取締役 小宮山 宏氏

に貢献している信越グループの製品・技術



ハイブリッドカー

クリーンエネルギー自動車
温室効果ガスを
約 50%削減

(研究機関調べ／市販ハイブリッド
カーと同クラスのガソリン車との比較)

12%
日々の暮らし

(家庭、オフィス、輸送、太陽電池を含む)



塩化ビニル樹脂



画像提供：トステム株式会社

高断熱「樹脂窓」
冷暖房エネルギーを
約 25～40%削減

(業界団体調べ／複層ガラスとの組み合わせ
で既存のアルミ窓・単板ガラスとの比較による
モデルケース)

シリコン系LED周辺材料 (レンズ、封止材、反射材、放熱材料など)



カバー
光を拡散させる
樹脂またはガラス

LEDモジュール
光を発する

電源回路
交流から直流に
変えてLEDを点灯させる

白金

LED 照明
温室効果ガスを
52%削減
(電気メーカー調べ／白熱電球との比較)

希土類磁石 (高効率モーター)

ヒートポンプ給湯
温室効果ガスを
約 65%削減

(関連財団法人調べ／エコキュートと従来の
給湯器との比較)

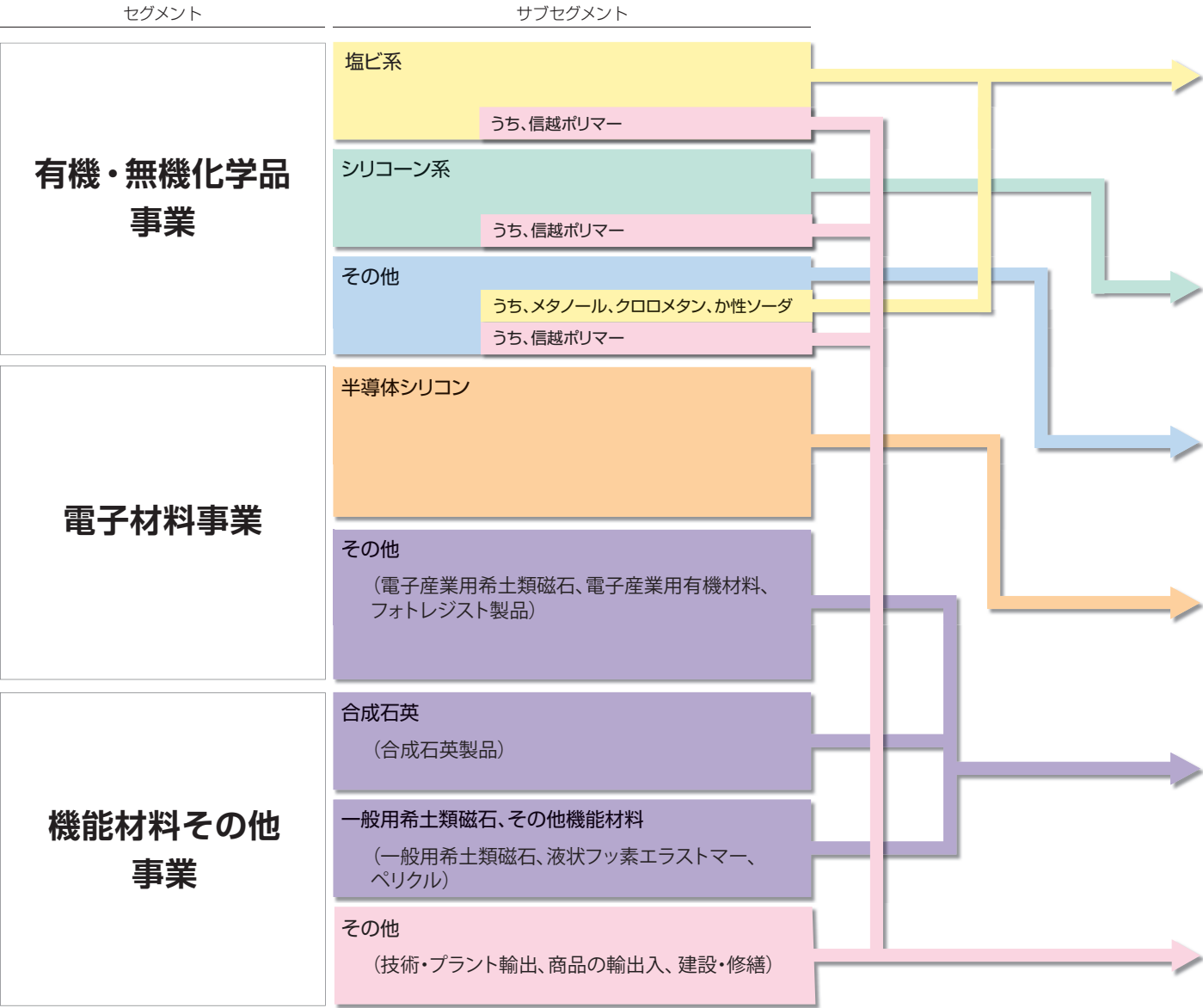
省エネエアコン
冷暖房エネルギーを
約 5～10%削減

(エアコンメーカー調べ／高効率インバーター
エアコンと従来の普及タイプとの比較)

単結晶シリコン、
研磨材、シリコン系
アッセンブリー材、シランガス

太陽光発電

旧セグメント (2009年度／2010年3月期まで)



新セグメント (2010年度／2011年3月期より)

セグメント	2010年度上半期 売上高構成比	主要製品・サービス
塩ビ・化成品 事業	28 %	塩化ビニル樹脂<信越化学、シンテック、 シンエツPVC> か性ソーダ、メタノール、クロロメタン
シリコン事業	13 %	シリコン<信越化学 他>
機能性化学品 事業	7 %	セルロース誘導体<信越化学、SEタイロース> 金属珪素<シムコア> ポバール<日本酢ビ・ポバール> 合成性フェロモン
半導体シリコン 事業	27 %	半導体シリコン <信越半導体グループ、長野電子工業、 直江津電子工業>
電子・機能材料 事業	13 %	希土類磁石(電子産業用・一般用) 半導体用封止材、LED用コート材 フォトレジスト マスクブランクス 合成石英製品 液状フッ素エラストマー ペリクル
その他関連事業	12 %	樹脂加工製品<信越ポリマーグループ> 技術・プラント輸出、商品の輸出入 エンジニアリング<信越エンジニアリング>

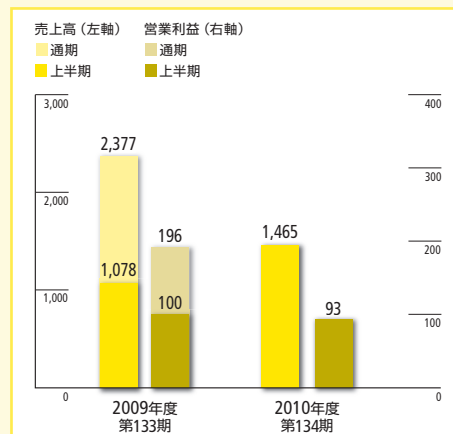
※ < >内は主要製品およびサービスの主な製造・販売会社を示します。

塩ビ・化成品事業

米国の住宅市場の長期的な需要低迷の影響を受ける中、米国のシンテック社は長年にわたり培ってきた世界中の顧客への販売網を生かした販売活動により、高水準の出荷を維持し業績を伸長させました。オランダのシンエツPVC社も堅調な出荷を継続しました。一方、国内事業は、円高による輸出の採算悪化もあり、厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は、前上半期に比べ387億4千9百万円(36.0%)増加し、1,465億6百万円となり、営業利益は、前上半期に比べ6億7千4百万円(6.8%)減少し、92億7千6百万円となりました。

売上高および営業利益 (単位：億円)

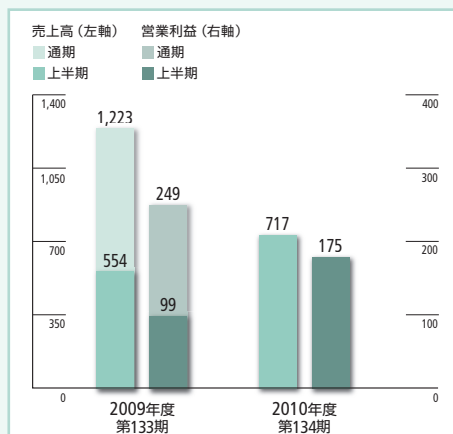


シリコン事業

電気・電子、自動車、化粧品など幅広い分野で需要が活発で、国内外ともに堅調に推移しました。

この結果、売上高は、前上半期に比べ163億2千9百万円(29.5%)増加し、717億1千9百万円となり、営業利益も、前上半期に比べ76億2千8百万円(77.0%)増加し、175億3千万円となりました。

売上高および営業利益 (単位：億円)

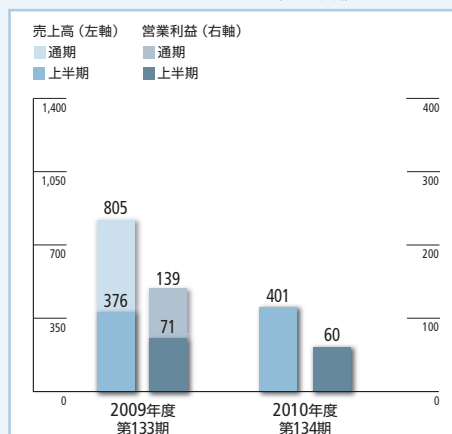


機能性化学品事業

セルロース誘導体は、国内事業では医薬用製品が堅調に推移し、工業用製品も自動車向けなどで回復が見られました。建材用製品は、市場に回復感がなく厳しい状況が続きました。ドイツのSEタイロース社も、建材用製品の価格低迷の影響を受け、低調に推移しました。

この結果、売上高は、前上半期に比べ25億5千万円(6.8%)増加し、401億4千2百万円となり、営業利益は、前上半期に比べ10億8千4百万円(15.3%)減少し、59億9千4百万円となりました。

売上高および営業利益 (単位：億円)

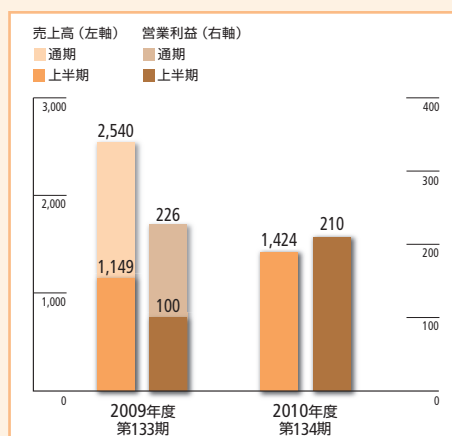


半導体シリコン事業

パソコンや携帯電話などのデジタル家電や、自動車向けなどの幅広い分野で半導体デバイス需要に回復が見られたことから、ウエハー需要も総じて堅調に推移し、業績は伸長しました。

この結果、売上高は、前上半期に比べ274億6千1百万円(23.9%)増加し、1,424億1千4百万円となり、営業利益も、前上半期に比べ109億4千6百万円(109.0%)増加し、209億9千万円となりました。

売上高および営業利益 (単位：億円)

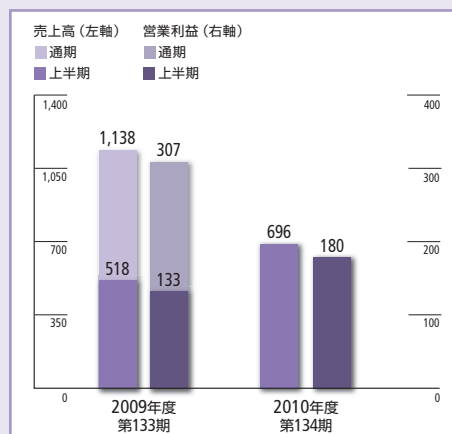


電子・機能材料事業

希土類磁石は、パソコン用ハードディスクドライブ向けが在庫調整の影響を受けましたが、ハイブリッド自動車用やロボットおよび工作機械向けが堅調でした。高輝度LED用コート材は引き続き好調に推移しました。フォトレジスト製品は半導体デバイスメーカーが高水準の生産を継続しており、デバイスの微細化の進展もあり堅調に推移しました。合成石英製品は、光ファイバー用プリフォームが好調な出荷を続けましたが、液晶用大型フォトマスク基板は出荷が堅調だったものの、価格競争激化の影響を受けました。

この結果、売上高は、前上半期に比べ178億1百万円(34.4%)増加し、696億4百万円となり、営業利益も、前上半期に比べ47億3千4百万円(35.6%)増加し、180億3千3百万円となりました。

売上高および営業利益 (単位: 億円)

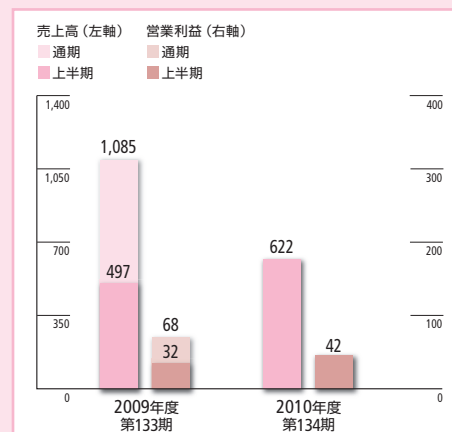


その他関連事業

信越ポリマー(株)は、携帯電話用キーパッドが価格競争激化などの影響を受けましたが、半導体ウエハー関連容器は回復基調となりました。エンジニアリング事業は堅調でした。

この結果、売上高は、前上半期に比べ124億4千1百万円(25.0%)増加し、621億7千3百万円となり、営業利益も、前上半期に比べ9億3千4百万円(29.0%)増加し、41億6千万円となりました。

売上高および営業利益 (単位: 億円)

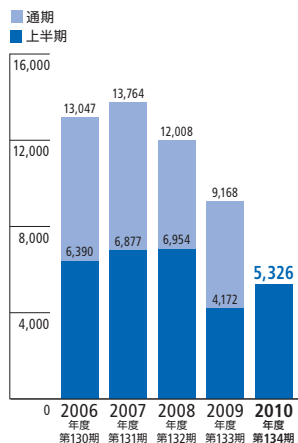


連結業績ハイライト

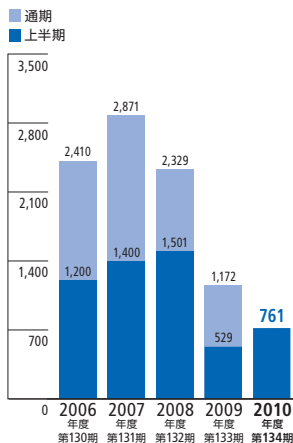
(単位：百万円)

	2009 年度		2010 年度 上半期	2009 年度 上半期比増減
	上半期	通 期		
売 上 高	417,229	916,837	532,562	[27.6%] 115,333
営 業 利 益	52,939	117,215	76,143	[43.8%] 23,204
経 常 利 益	55,818	127,019	81,203	[45.5%] 25,385
純 利 益	35,528	83,852	62,342	[75.5%] 26,814
1 株当たり純利益	83.70 円	197.53 円	146.83 円	63.13 円
1 株当たり配当金	50.00 円	100.00 円	50.00 円	—
純 資 産	1,460,900	1,474,212	1,476,170	
総 資 産	1,740,579	1,769,139	1,777,773	

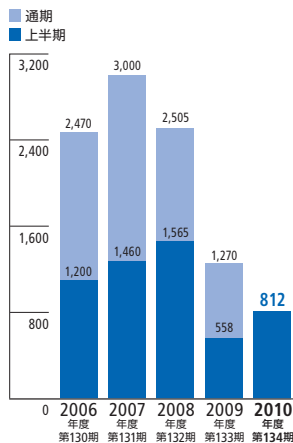
売上高 (単位：億円)



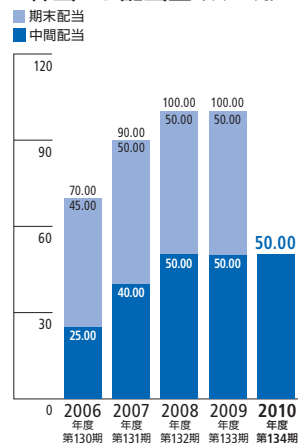
営業利益 (単位：億円)



経常利益 (単位：億円)



1株当たり配当金 (単位：円)



連結決算の概要

貸借対照表

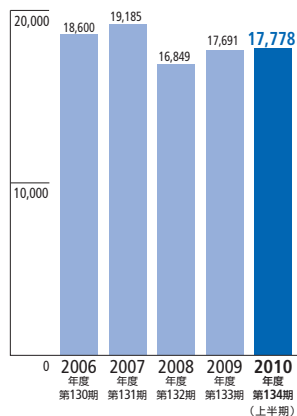
(単位:百万円)

科 目	2009年 9月末	2010年 9月末
(資産の部)	(1,740,579)	(1,777,773)
流動資産	834,695	872,630
現金・預金	200,930	229,461
受取手形・売掛金	250,278	282,545
有価証券	115,032	130,772
たな卸資産	191,032	175,579
その他	77,421	54,270
固定資産	905,884	905,143
有形固定資産	644,171	637,668
機械装置及び運搬具	282,596	260,264
その他	361,574	377,404
無形固定資産	18,460	14,399
投資その他の資産	243,252	253,076
投資有価証券	151,410	151,105
その他	91,841	101,970
資産合計	1,740,579	1,777,773

(単位:百万円)

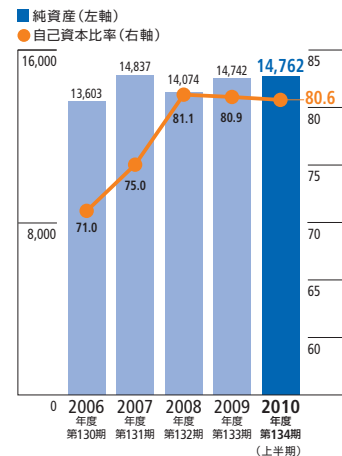
科 目	2009年 9月末	2010年 9月末
(負債の部)	(279,678)	(301,603)
流動負債	204,587	237,236
支払手形・買掛金	89,409	110,655
短期借入金	10,067	12,762
その他	105,110	113,818
固定負債	75,091	64,366
長期借入金	14,565	6,085
その他	60,525	58,280
(純資産の部)	(1,460,900)	(1,476,170)
株主資本	1,497,574	1,566,192
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	128,177	128,177
利益剰余金	1,291,400	1,359,497
自己株式	(-) 41,423	(-) 40,902
評価・換算差額等	(-) 81,915	(-) 132,698
新株予約権	3,661	3,604
少数株主持分	41,580	39,071
負債純資産合計	1,740,579	1,777,773

総資産 (単位:億円)



純資産 (単位:億円)

自己資本比率 (単位:%)



損益計算書

(単位:百万円)

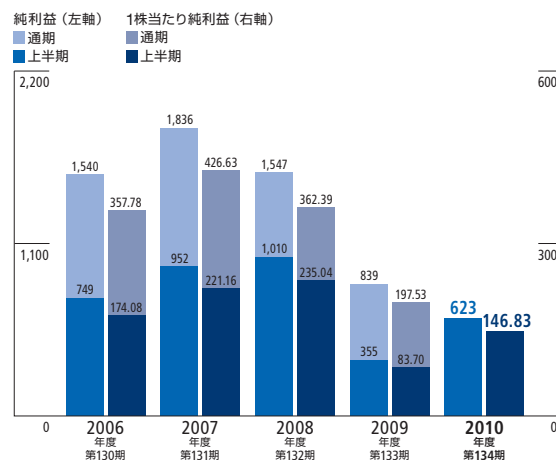
科 目	2009年度上半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日	2010年度上半期 2010年4月1日～ 2010年9月30日
売 上 高	417,229	532,562
売 上 原 価	316,304	402,854
売上総利益	100,924	129,708
販売費・一般管理費	47,985	53,564
営業利益	52,939	76,143
営 業 外 収 益	9,746	15,467
営 業 外 費 用	6,868	10,407
経常利益	55,818	81,203
税金等調整前純利益	55,818	81,203
法人税・住民税・事業税	10,869	22,973
過 年 度 法 人 税 等	—	(-) 10,698
法 人 税 等 調 整 額	9,365	5,695
少 数 株 主 利 益	54	890
純利益	35,528	62,342

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	2009年度上半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日	2010年度上半期 2010年4月1日～ 2010年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,458	132,676
税金等調整前純利益	55,818	81,203
減価償却費	40,740	45,318
法人税等の支払額	(-) 4,482	(-) 16,790
法人税等の還付額	—	9,600
その他の他	(-) 15,618	13,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	(-) 49,452	(-) 70,479
有形固定資産取得による支出	(-) 74,998	(-) 64,619
その他の他	25,546	(-) 5,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	(-) 24,250	(-) 22,574
借入金増減額	(-) 2,321	(-) 1,003
配当金の支払額	(-) 21,223	(-) 21,230
その他の他	(-) 705	(-) 341
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,418	(-) 1,400
現金及び現金同等物の増減額	6,173	38,222
現金及び現金同等物の期首残高	251,044	270,443
現金及び現金同等物の上半期末残高	257,218	308,666

純利益 (単位:億円) 1株当たり純利益 (単位:円)



商 号	信越化学工業株式会社		
本 社	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号 電話 03(3246)5091 URL : http://www.shinetsu.co.jp		
設 立	1926年9月16日		
役 員	代表取締役会長 金川 千 尋 取締役 フランク・ピーター・ボポフ※1 代表取締役社長 森 俊 三 河 野 俊 二※1 代表取締役副社長 秋 谷 文 男 金 子 昌 資※1 斉 藤 恭 彦 宮 崎 毅※1 代表取締役専務 小 野 義 昭 福 井 俊 彦※1 小 宮 山 宏※1 常務取締役 幅 田 紀 一 宮 島 正 紀 高 杉 晃 司 荒 井 文 男 石 原 俊 信 笠 原 俊 幸 轟 正 彦 小 根 澤 英 徳 秋 本 俊 哉 中 村 健 松 井 幸 博 岡 本 博 明 常勤監査役 岡 田 理 監査役 渡 瀬 昌 彦 福 井 琢※2 小 坂 義 人※2 永 野 紀 吉※2 ※1 取締役フランク・ピーター・ボポフ、河野俊二、金子昌資、宮崎毅、福井俊彦および小宮山宏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。 ※2 監査役福井琢、小坂義人および永野紀吉は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。		
支 店	大阪支店、名古屋支店、福岡支店		
工 場	直江津工場（新潟県）、武生工場（福井県）、群馬事業所／磯部工場・松井田工場（群馬県）、鹿島工場（茨城県）		
研 究 所	合成技術研究所、新機能材料技術研究所（以上新潟県）、磁性材料研究所（福井県）、シリコン電子材料技術研究所、精密機能材料研究所（以上群馬県）、塩ビ・高分子材料研究所（茨城県）		
従業員数	連結 16,866名		
主要関係会社	シンテック INC.、信越半導体（株）、シンエツハンドウタイアメリカ INC.、信越ポリマー（株）、S.E.H. マレーシア SDN.BHD.、シンエツ PVC B.V.、信越エンジニアリング（株）、SE タイローズ GmbH & Co.KG、シンエツハンドウタイヨーロッパ LTD.、長野電子工業（株）、台湾信越半導体股份有限公司、直江津電子工業（株）、信越アステック（株）、三益半導体工業（株）、信越石英（株）、鹿島塩ビモノマー（株）		

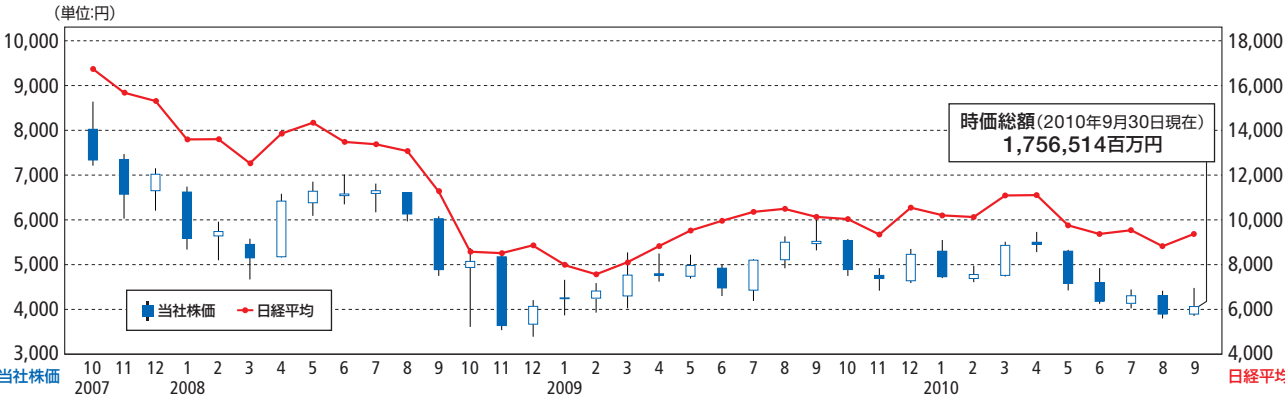
株式の状況 (2010年9月30日現在)

発行する株式の総数	1,720,000,000 株
発行済株式総数	432,106,693 株
(注) 自己株式 7,507,247 株が含まれております。	
資本金	119,419,688,785 円
株主の総数	72,818 名

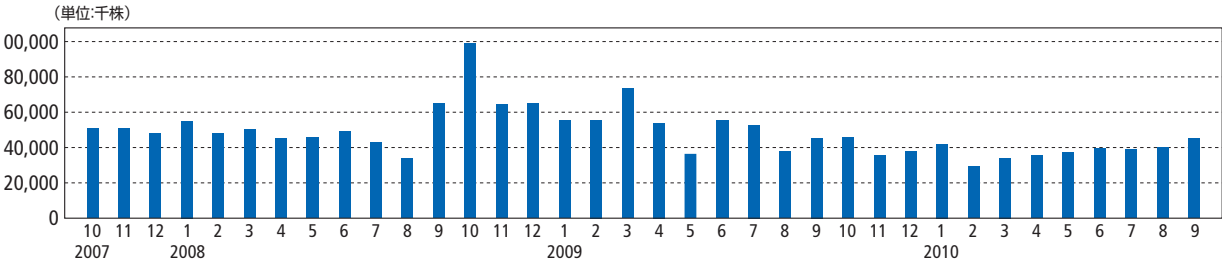
大株主			(千株未満は切捨表示)
株主名	持株数	出資比率	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	32,674 千株	7.7 %	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	30,559	7.2	
日本生命保険相互会社	24,370	5.7	
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	11,954	2.8	
株式会社八十二銀行	11,790	2.8	
明治安田生命保険相互会社	10,962	2.6	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 4)	10,884	2.6	
日本興亜損害保険株式会社	7,077	1.7	
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	6,711	1.6	
富国生命保険相互会社	6,000	1.4	

(注) 当社は、自己株式 7,507,247 株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当受領
株主確定日 3月31日

中間配当受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

公告掲載方法 電子公告により、当社ホームページ (<http://www.shinetsu.co.jp/j/index.shtml>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告にすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京・大阪・名古屋

株主名簿管理人
特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金振込指定などの各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 2009年1月の株券電子化に伴い、株主さまのお名前などに証券保管振替機構(ほふり)で指定されていない漢字などが含まれている場合、お送りする通知物の宛名の全部または一部がカタカナなど、ほふりの指定する文字に置き換わっている場合がありますのでご了承ください。
- 株式事務に関する一般的なお問合せは、上記株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)の電話0120-232-711(通話料無料)で承っております。

ShinEtsu
信越化学工業株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号
電話 03(3246)5091 URL: <http://www.shinetsu.co.jp>
証券コード: 4063

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、最新のIR情報とともに、株主・投資家の皆さまへのメッセージなど、当社の経営および事業のご理解を深めていただくための多彩な情報を掲載しています。また、事業や製品情報なども随時最新情報に更新しています。

なお、本報告書の掲載内容に変更が生じた場合は、直ちに当社ホームページ上でお知らせいたします。

<http://www.shinetsu.co.jp/j/>



この冊子は森林認証紙に
アメリカ大豆協会認定の大豆油インキで印刷されています。